



第121号 2015年1月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

主な内容

史料探究 杉文の手紙を読む	P4
ズームアップ 昭和館館長 羽毛田信吾(東京都)	P6
ふるさと萩とゆかりの人々 何延禅(シンガポール)	P7
夢追人 サイクルショップNAGACHARI 長岡一成(萩市)	P8
夢追人 株式会社 拵 増山直嗣(萩市)	P9

萩藩校明倫館は、嘉永2年(1849)、堀内(萩城三の丸)から江向の地に拡張移転。南門は弘化5年(1848)正月、新明倫館の正門として建てられたものです。明治15年に西田町の本願寺山口別院の表門として移築されていましたが、平成15年に萩市へ寄付され、元の場所に移築されました。

明倫館遺構は、敷地内に水練池や有備館(剣槍術場)、明倫館碑などが現存するほか市内にも点在しています。吉田松陰は、移転後の新明倫館でも嘉永4年(1851)22歳まで兵学などを教え、小田村伊之助(楯取素彦)もここで指導しました。

**1月4日(日)「花燃ゆ」いよいよ放送開始
旧萩藩校明倫館南門**



大河ドラマ「花燃ゆ」

1月4日(日)「花燃ゆ」

いよいよ放送開始!

大河ドラマ「花燃ゆ」の放送がいよいよと迫り、萩でも大いに盛り上がっています。初回は、60分拡大版となっています。

杉家の絆や松陰の志を継いだ若き志士たちが、どのように描かれるのか、これからのドラマの展開に期待が高まります。

日曜日〔総合〕午後8時～〔BSプレミアム〕午後6時～

土曜日〔総合〕午後1時5分～(再放送)

萩出身者、萩ファンの皆さんへ

土屋勝裕(NHKドラマ番組部チーフプロデューサー)

平成26年8月、暑い中での萩市でのロケに多くの方が参加された、ドラマ冒頭に登場する砲術訓練のシーンは迫力あるシーンになりました。松陰先生とその家族、塾生たちの描かれ方は、皆さんのイメージと違う部分もあるかもしれませんが、楽しんで見ていただければと思います。

このドラマをきっかけに、より多くの人がこの時代に興味をもつて、山口県、萩市を訪れてほしいと思っています。皆さんのご期待にこたえられる番組になるようこれからも頑張っていきます。

キャストの紹介

萩市出身の俳優、松本実さんが出演。

■松本実(来原良蔵役)

1974年(昭和49)生まれ、萩市吉田町出身。大河ドラマ「龍馬伝」で吉田稔磨役など。

1月11日(日)

「文と萩物語 花燃ゆ」大河ドラマ館オープン

ドラマ館では、ドラマで使用した衣装や小道具、撮影セットの展示、ここでしか見ることのできるロケ風景の映像など、大河ドラマ

マの世界観が体験できます。

- 開館期間 平成27年1月11日(日)～平成28年1月10日(日)
- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ところ 旧明倫小学校体育館
- 入場券 大人500円(前売券400円)、小・中学生200円(前売券160円)、萩物語セット券(ドラマ館、萩博物館、松陰神社宝物殿至誠館のセット券) 大人1000円、小・中学生400円
- ※前売券販売は1月10日まで
- 駐車場 (1回) 普通車310円、大型バス1030円
- ※詳しくは、協議会ホームページをご覧ください。

萩(大河ドラマ館)～新山口駅間直行バス「スーパーステージ」運行で時間短縮

大河ドラマ館の開館に合わせてJR新山口駅から大河ドラマ館まで中国自動車道、小郡萩道路を経由する直行バスが運行されます。

- 運行期間 平成27年1月11日～平成28年1月10日(1年間予定)
- 運行回数 8便(4往復)／日
- 所要時間 片道約60分
- ※「特急はぎ号」は約70分(児半額)
- 運賃 片道大人2060円(小児半額)

http://www.city.hagi.lg.jp/fumi-hagi/

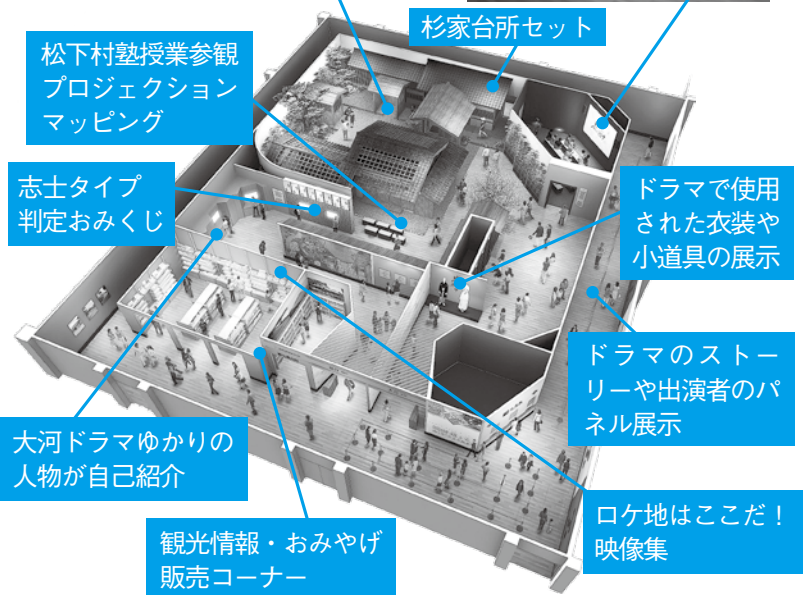
■問い合わせ
萩市大河ドラマ推進室
(0838・255・3139)

(入場券に関する事)
萩市大河ドラマ館入場券販売管理センター
(080・2922・7750)



大河ドラマ
萩燃ゆ
幕末男子の育て方。

平成27年1月4日(日)スタート



新山口 → 萩		
バス会社	出発	到着
JR	9:45	10:45
防長	11:00	12:00
JR	13:00	14:00
防長	16:15	17:15
萩 → 新山口		
バス会社	出発	到着
防長	9:30	10:30
JR	11:15	12:15
防長	14:00	15:00
JR	16:30	17:30

■実施主体 防長交通㈱、中国ジェイアールバス㈱

■問い合わせ 萩市観光課
(0838・255・3139)

楫取素彦が一時期住んでいた旧宅跡に休憩施設等を整備しました

吉田松陰の盟友であり、二人の妹寿と文の夫であった小田村伊之助(楫取素彦)の旧宅跡跡地に駐車場や休憩施設、園路などを整備しました。休憩施設には楫取素彦や関わりの深い人々の説明板や周辺案内図を設置しました。

■ところ 萩市椿東(中ノ倉)
 ※萩循環まあるバス中ノ倉バス停から約450m、徒歩約6分
 ■整備内容



○駐車場 普通車4台(無料)
 ○休憩施設(東屋約7.3㎡)

「花燃ゆ」のロケ地にもなった旧藩校明倫館跡の一般公開を開始しました

旧藩校明倫館は、昨年度まで明倫小学校の敷地だったため敷地内への入場が制限されていましたが、学校が移転されたため、このたび旧藩校明倫館跡の一般公開を開始しました。

剣槍術場だった「有備館」にはガイドが常駐し、館内の見学も可能です。また、希望者には敷地内の水練池、明倫館碑などの遺構の案内を有料(1000円)で行っています。

また、旧明倫小学校校舎4棟は、明治維新150年事業の一つとして「観光の拠点」「教育伝承の場」「生涯学習・市民活動の場」「資料展示の場」としての公開活用のため整備を進めています。本館および2棟目は平成29年4月、残り2棟は平成31年4月の開館を目指します。



旧萩藩校明倫館 有備館

新春のごあいさつ

萩ネットワーク協会会長
 萩市長 野村興兒



萩市東部の集中豪雨災害から1年5カ月余りになろうとしています。会員の皆様には、被災地へのさまざまな支援に対しまして厚くお礼申し上げます。

「地方創生」の動きに対応して

国は昨年末、「まち・ひと・しごと創生本部」を設け、地方創生と人口減少の克服に向けて具体的施策の策定を始めました。本年はこのような中で活路を見出すべく、観光振興に力点を置いて舵取りをまいります。

なかでも、萩を舞台とした大河ドラマは観光面でも大きな効果が期待できます。1月11日からドラマ館が開館し、新山口から小郡萩道路を活用したノンストップの直行バス「スーパーはぎ号」も運行を開始します。また、観光事業者のみならず市民挙げて温かいおもてなしができるよう努めてまいります。

さらに、萩の5つの遺産を含む「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の調査が関係機関で行われており、本年の6月に登録の可否が決定されます。また、予断を許しません、混乱がないよう準備を進めてまいります。

また、平成30年は、明治維新から150年の節目の年となります。

私たちはこの19世紀末の世界史の奇跡といわれた日本の近代化の物語、この萩のまちの若者たちが日本の近代化の礎を築いたという、先人が命を賭して成し遂げた「萩物語」を次の世代にしっかりと語り継ぎ、萩を訪れる多くの人にもしっかりと説明できるように努めてまいります。

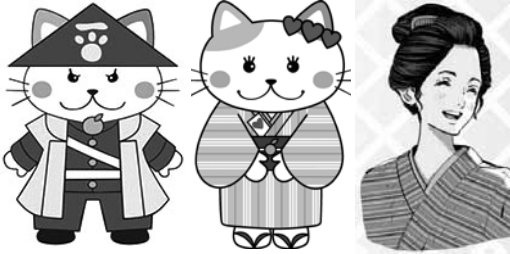
東西・南北の自動車道の早期整備

「山陰道」(東西) および「小郡・萩道路」(南北)の自動車道の早期整備については、地方創生に係る最も重要な課題とし、国・県はじめ多くの関係者のご努力で両自動車道とも一歩ずつ前進を進めております。引き続き早期整備に向けて努めてまいります。

各分野の課題・問題は山積しておりますが、計画を立て、ひとつずつ着実に解決へ向けて頑張っております。

末尾になりましたが、本年の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。のごあいさついたします。

萩市のキャラクター「文にゃん」「文さん」「萩にゃん」デザインが使用できます



萩にゃん。 文にゃん 文さん

申請方法など詳しくは、萩市観光協会公式サイト <http://www.hagishi.com>

明治維新150年に向けた取り組みとして、吉田松陰の妹文をモチーフに誕生した「文にゃん」と大河ドラマ「花燃ゆ」の放送に合わせ萩市出身の漫画家で萩ふるさと大使の桐木憲一さんが描いたイメージイラスト「文さん」、そして平成25年に誕生した、「花燃ゆ」を応援している「当地キャラクター」萩市観光課長代理「萩にゃん」のキャラクターデザインの使用ができるようになりました。無料で利用できますが、萩市への申請が必要です。ぜひグッズなどに利用して萩市をPRしてみませんか。

■問い合わせ・申し込み 萩市観光課(08388・253139)



杉文の手紙を読む

甥吉田小太郎あての手紙

大河ドラマ「花燃ゆ」の放送を2カ月後に控えた平成26年11月、萩博物館では館内の一部を改修し、新しい展示室を開設した。名称は特設展示室「兄松陰と妹文―杉家の家族愛―」という。サブタイトルに見られるように、松陰・文兄妹を育んだ杉家の家族愛をテーマとして特別に設けた展示室である。

ここでは、杉家から秋市に寄贈された貴重な資料を展示している。展示期間は、平成28年（2016）9月まで、約2カ年の予定だ。

そこで今回はその展示物の中から、杉文（楢取美和子）の手紙を紹介したい。文の自筆の手紙は、明治時代になってからのものしか残されていないが、彼女の人格がどうであったかを探るには格好の材料となる。文が手紙を送った相手は、母杉滝、兄杉梅太郎（民道）、甥吉田小太郎らといった杉家ゆかりの人々である。ここではその中からとくに、文が小太郎に送った

手紙を一通とりあげることにした。これらを読み進めると、文が叔母として、甥の小太郎にどのように接していたかを垣間見ることができる。

吉田小太郎（1858～1876）は杉梅太郎の長男である。文久3年（1863）4月、藩命により吉田家の再興が許されるに伴い、亡き叔父松陰の跡を継ぐ。当時、6歳の幼きであった。大叔父玉木文之進が主宰した松下村塾に学び、父梅太郎の勤務先の徳山や岩国に遊学したこともある。明治5年（1872）には山口県参事 中野梧一に從つて一時的に上京を果たし、東京で洋学を勉強したいとの思いを強くしていた。

東京に出たいという甥への慰め

一通目（写真1）は、差出人が「久坂おほより」すなわち文（当時は久坂美和）で、あて名が「よし田小太郎様」となっている。日付は「十一月十一日認め置く」とだけ記されているが、内容から、

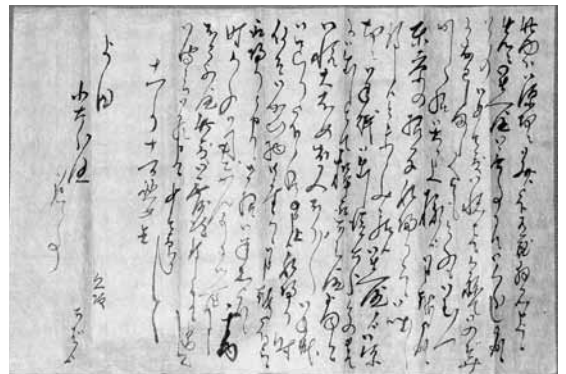


写真1 明治8年と推定される文の手紙（萩博物館蔵）

文が関東から萩の小太郎に送ったことは間違いない。文は、明治8年（1875）に関東へ行ったとされているので、この手紙はおそらく、明治8年11月11日に、東京か、あるいは楢取素彦・寿夫妻のいる熊谷県（現在の群馬県と埼玉県西部）に滞在中に発信したものとみられる。だとすれば、この時文は33歳、小太郎は18歳となる。この手紙は、小太郎が東京への遊学を強く希望していた証拠となるもので、現代語に改めると、次のようになる。

「この間はご親切にお手紙を下され、ありがたく拝見いたしました。まずまず貴方様はご無事にお暮らしになられているとのこと、おめでたくお喜び申し上げます。前々からお望みでいらつしやいましたが、（小太郎の上京は）どう

も難しいとお父上様（梅太郎）よりお申し越しになりました。東京の様子は私が帰つたらお話し致しますので楽しみにしております。貴方様よりご親切にお手紙をお出しになり、清太郎殿（久保清太郎か）にまでお出しになったとかで、楢取叔母様（寿）はよほどお喜びになり、大変褒めておられましたので、またお手紙をお送り下されませう申し上げます。私が帰る時に何かお買物があるならば、ご連絡ください。承知いたします。近日、時候のご用心は申し上げます。お父様にはこのたびはご無沙汰いたしますので、よろしくご伝言お頼み申し上げます。めでたかしく（女性の手紙の末尾に添える言葉で「恐れ謹んで申し上げます」の意味）。

この手紙から、関東にいる文は、萩の小太郎から手紙を送られ、上京したいという相談を受けていたことがわかる。ところが、文の兄で小太郎の実父でもある梅太郎は反対した。その背後に、文や梅太郎の叔父で、小太郎の大叔父にあたる玉木文之進の存在があったことはいままでもない。保守的な玉木は、小太郎が東京に遊学すれば開明的な思想にのめり込むであろうことを危険視し、梅太郎に働きかけてブレーキをかけていたのである。

そのことを知ってか知らぬか、文は小太郎に、自分が萩に帰つたら東京のことを話して聞かせてあげるからと、意外とのんきに慰めの言葉をかけている。しかし、最先端の地で新しい学問に触れたいという小太郎にとって、東京見物の話や土産物などは取るに足らないことであつたに違いない。小太郎がこの手紙を読んでどのように反応したかは直接の史料を見つけていないため、あくまでも想像でしかないが、内心では「叔母さんは僕の思いをまったくわかってくれない！」とぼやいていたのではなからうか。

甥に養蚕を習得するよう激励

一通目（写真2）は、日付が二月二十一日としか書かれていないが、おそらく、明治9年（1876）2月22日に文が関東から萩の小太郎に送つたとみられる手紙である。この手紙は長文であるため、抄訳（一部を抽出し現代語訳すること）して次にお示りする。

「2月2日付けのお手紙が12日に届き、ご親切に細々とお知らせ下され、誠に有り難く拝見しました。皆々様ご機嫌よく、おめでたくお喜び申し上げます。貴方様はよくぞご親切に私に早く帰れと申して下され、実に嬉しく思つてお

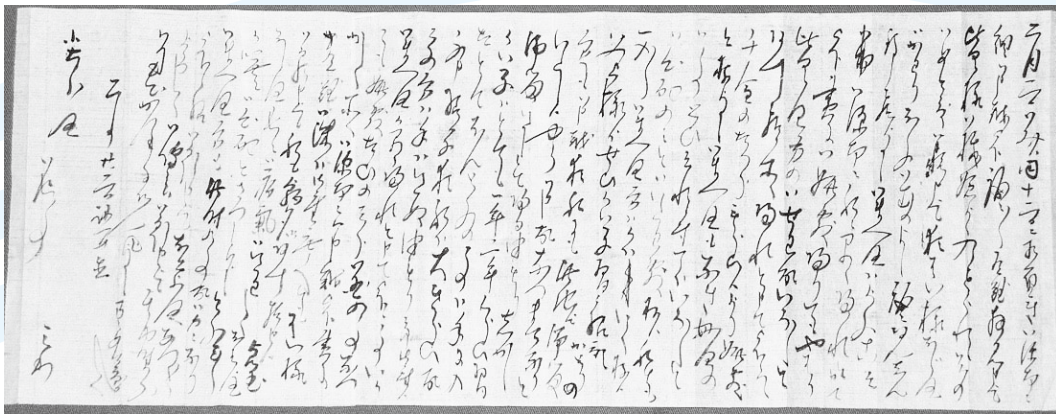


写真2 明治9年と推定される文の手紙（萩博物館蔵）

ります。(中略) 父上様よりぜひ
蚕(養蚕)を習われるようにと
願っております。楯取の方へも
知らせくださいようですが、私
は夏まで滞留して帰るつもりで
す。しかし、蚕はとて一年や二
年くらい習ったところで、本当の
ことは身につかないものです。な
お、私は大嫌いですので、その

方には手を出さぬつもりでござい
ます。貴方様が早く帰れと申し
下されることは、いかにも嬉しく
お国(長州、萩)のことが懐かし
く思い出され、実に有り難いこと
です」。

文は小太郎からの早く帰るよう
にとの要請を喜ぶ。また、文は小
太郎に対し、父梅太郎から「蚕」
すなわち養蚕技術を学ぶようにと
激励する。ただし、養蚕はとて一、
二年程度では習得できないなどと
強調しながら、自分は大嫌いな
で手を出さないとも述べている。

文は、蚕だけが苦手だったのか、
それとも虫が全般的に嫌だった
のか、詳しくはわからない。が、
文は、甥には養蚕の習得を勧めな
がらも自分はしないといっている
のだから、これを聞いた小太郎は
すんなり納得することができたで
あろうか。それはともかく、文は
関東の養蚕先進地を自分の目で確
かめたからこそ、これからは萩の
士族も養蚕を学び、実践する必要
があると、小太郎を説得したかっ
たにちがいない。

しかし小太郎は、この年10月に
勃発した萩の乱に加わり、夜襲で
新政府軍へ切り込んだ際に戦死し
た。弱冠19歳であった。

手紙から垣間見える叔母 と甥の関係

文が吉田小太郎に送った二通の

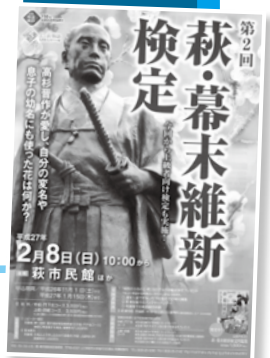
手紙を読んでいる、私はあること
に気が付いた。

吉田松陰が22歳の嘉永4年
(1851)6月、兄梅太郎に送っ
た手紙に、叔母に対する所感が見
られる。意識すると、松陰は「黒
川・宇野・佐々木・大藤らの手紙
は喧しいが滑稽です」などと言葉
を連ねている。黒川は松陰の養母
久満(吉田大助未亡人)、宇野は
松陰の母滝の妹の嫁ぎ先、佐々木
は父百合之助の妹の嫁ぎ先、大藤
は滝の姉の嫁ぎ先をそれぞれ指す。
青年期の松陰にとって、叔母ら母
親世代の女性たちは口喧しい存在
だったのである。

これを踏まえると、文の小太郎
への接し方は、大変気配りが行き
届いているが、逆にいえば煩わし
くも受けとれる。要するに甥から
みると、叔母はうるさい存在だっ
たのである。これはあくまでも、
幕末から明治初頭にかけての杉家
を例にしたものであるが、ほかの
家がどうだったのか、あるいは今
でも一般的にそういう風習が見ら
れるのか、私にはよくわからない。
よって、これを杉家の家風と即断
するのは避けておくが、現時点で
いえるのは、文は可愛い甥の躰や
教育に一生懸命だったということ
である。ただし、それを甥がどう
受け止めたかは別問題であるが…。

道迫真吾(萩博物館主任学芸員)

第2回 萩・幕末維新検定を 2月8日に実施! 申込受付は1月15日まで



明治維新胎動の地・萩で、幕
末・明治維新に関し、萩ゆかり
の人物や歴史を学ぶ「第2回
萩・幕末維新検定」を実施。今
回から、さらに難易度の高い検
定(上級向け)を実施し、二段
階のコースで幕末・維新につい
て深く学んでいただけます。

■とき 平成27年2月8日(日)
午前10時〜(検定時間90分)
■ところ 萩市民館ほか
■中級・門下生コース
■受験資格 どなたでも
■出題数 100問(択一式50
問・記述式50問)
■検定料 3000円
■上級・師範コース
■受験資格 第1回萩・幕末維
新検定合格者

■出題数 100問(択一式30
問・記述式70問)
■検定料 3500円
※ともに80問以上の正解で合
格、割引制度や受験者特典があ
ります。詳しくは「萩・幕末維
新検定ホームページ」をご覧
ください。



■申込先 〒758-0057
萩市堀内355 萩博物館内
萩・幕末維新検定事務局(F
AX 0838-25-3142、
メール machihaku_jinu@city.
hagi.lg.jp)
萩・幕末維新検定問題集(公式
テキスト)

■申込方法 萩博物館などに備
え付けの申込用紙(萩・幕末維
新検定ホームページからダウン
ロード可)に必要な事項を記入し、
郵送、FAX、メールまたは、
萩幕末維新検定ホームページ専
用フォームから申し込み

■問い合わせ
萩市まちじゅう博物館推進課
(0838-25-3177)

■申込受付期間 1月15日まで
(http://machihaku.city.hagi.lg.jp/bakumatsushin/)

はけたしんご
羽田 信吾さん

(東京都在住、萩高校昭和36年卒、72歳)



記念すべき、萩ネットワーク第1号(1995年1月発行)のズームアップで紹介した、羽田信吾さん(当時、内閣官房首席内閣参事官)から、20年ぶりに近況などを本紙にお寄せいただきました。

昔日の故郷の面影は今

平成26年秋、萩市川上敬老会に招かれて、久しぶりに帰郷した。わずかに色づき始めた山々の変わらぬ姿は「嗚呼、これが私の故郷だ」という感傷を呼び覚ますに十分であった。

しかし、集落に入ると昔の風景

は一変して、子ども達の歓声や遊ぶ姿はおろか人影もまばらである。あまりの静けさに、暫し呆然とする。多くの隣家と同様、私の育った家も空き家となつて、亡父の植えた庭木が伸び放題に伸び屋根にかぶさっている。まさに故郷の廃家。「昔を今になすよしもがな」の思いに駆られたのだった。

少子高齢化に思うこと

川上のみならず、今住んでいる東京近郊でも、少子高齢化は確実に街の風景を変えつつある。

「結婚式場が葬儀場に変わりた

り少子高齢化とどまり止まらず」ある短歌教室の生徒さんの短歌である。結婚式場が葬儀場に転換した例は知らないが、我が町内でも、駅前の酒屋が何年前かに葬儀場に変わつた。結構繁盛していて、「もと酒屋だけに通夜振る舞いや会葬返礼に良い酒をだす」などと妙なところで評判をとっている。

葬儀場に限らず、街でデイカー・デイクエアの送迎車や霊柩車に頻繁に行きあうようになったし、ここ数年、近所の住宅に空き家が目立つ。その多くは、お年寄りが亡くなって住む人を失った家である。かつてはよく手入れされていた庭が荒れるに任されているのを見るのは辛いものだ。市内の大型団地では、孤独死の問題が深刻になつて久しい。

しかし、この風景を日本の黄昏と慨嘆してみても始まらない。

少子高齢化そのものを止めることは難しいとしても、それなりに活力をもった社会であり続けるためになすべき努力はいろいろあると思う。盛んに言われる「地方創生」も政策面でのこうした努力の一つだろうが、高齢者自身が体力の衰えを乗り越えて生き生きと生活するように心掛けることも大事ではないだろうか。積極的に地域社会に関わり、自らの楽しみを求め、のちに食欲でありたいものだ。

もつとも、私などがしたり顔で

高齢者の心構えなど説かなくても、すでにそうした動きは随所にある。現に、先般の帰郷の折も、敬老会の会場で若者の減少を吹き飛ばすような高齢者の明るい笑い声があふれ、何か救われた思いがしたのだった。萩で長く結婚相談員をしている同級生の話では、最近結婚生活も若い人だけでなく高齢の男女が出会いを求めてという事例が少なくないという。

第二の人生をいかに粹に

私自身も、2年前に常勤の仕事を退き、半隠居の身となつた今、長い老後をいかに生き生きと、欲を言えば少しばかり粹に過ごせぬものかと思案中である。

取りあえずの近況をご報告する



昨年10月に開催された萩高同期会でのワンシーン

と、週2日は東京都千代田区九段下にある昭和館という国立の展示館で働いている。戦中戦後の苦難に満ちた国民生活の実情を後世に伝えることを目的として、15年前(1999年)に設立された施設である。

その他の日は、近所に借りた畑に通つて野菜作りに精を出し、時に近所の仲間と環境美化のボランティア活動に汗を流している。最近、寄席に足を運んで落語を聴き、そのあと飲み会で盛り上がるという楽しみが加わつた。

世の中いろいろと大変なときにこんな気儘な生活をしていいのかもしれないが、私も72歳。「残軀天の許すところ 楽しむずんばこれ如何せん」(伊達政宗)の心境である。

■プロフィール

1942年(昭和17) 萩市(旧川上村)生まれ。
1961年(昭和36) 萩高等学校卒業(13期)、1965年(昭和40) 京都大学卒業後、厚生省に入省。厚生省保険局長、厚生事務次官を経て、2001年(平成13)に宮内庁に入庁。2005年(平成17)宮内庁長官に就任。
2013年(平成25)から、昭和館(東京都)館長を務める。

萩の歴史に魅力を感じて、 大学院で萩を研究



萩博物館の正面看板の前で

ハティンチャン
何廷禪さん

(シンガポール在住・29歳)

◎萩との出会いは偶然

すべての始まりは気まぐれでした。2年前の春に旅行の計画を立てていたとき、思いつきで西の京・山口に行こうと思いましたが、のんびりしたペースで、じっくりといろいろな場所を見たかったので、山口市内に3泊する予定を入れました。

旅行案内書のページをめくっていると、「萩」の項目に目が留まりました。武家屋敷や東光寺の毛利氏廟所の描写に惹かれ、日帰りで萩を訪ねようと思いましたが、こんなに深く考えずに気まぐれともいっても良いような決定で、自分の人生が大きく変わりました。萩で一日中歩いて、城下町や堀内、城跡、東光寺、松陰神社など

をいろいろ巡りました。いくら歩いても歴史的な景観が続いていて、こんなに広い範囲で昔の町並みの雰囲気を感じさせるところは、日本国内で萩にしか行ったことがありません。しかも、萩に行つて初めて、萩が明治維新にどれほど大きな役割を果たしたのかと知りました。

◎研究テーマは「萩」

帰国後、萩の歴史をもっと知りたくなり、図書館で幕末維新関連の文献を調べました。その中で印象に残った1冊が、トーマス・ヒューバが書いた「近代日本の革命的起源」という本です。吉田松陰と久坂玄瑞、高杉晋作の3人の人物を取り上げて、明治維新への展開を述べる、読んでいて胸が熱

くなりました。さまざまな文献を読んでいるうちに、自分がますます萩に興味を持つようになり、もつともつと知りたいという気持ちが湧きました。

その結果、シンガポール国立大学の大学院で萩のことを研究する決意をしました。研究のテーマは単なる歴史だけではなく、その歴史がどういふふうに使われているか、どういふふうに表示されているかを題材にしています。これには観光広報やまちづくり活動から、住民たちの歴史に対する意識や思いが含まれています。

◎萩博物館でインターンシップを経験して

平成26年の夏、論文の研究のために、実際に萩で1カ月半過ごしました。萩博物館でインターンシップ(職場体験)をさせていた



萩博物館でレポート作業

だきながら、さまざまな体験をさせていただき、多くの人と触れ合いました。萩まちじゅう博物館の活動などで、イベントの参加や、ヒアリングを行うために、川上をはじめ、弥富、浜崎、むつみ、旧松本村、福栄、明木、須佐、田万川と萩市内のいろいろな地域を訪ねました。行く先々で、お会いする皆さんがとても温かく接してくれるとともに、自分の地域に誇りを持ち大切にしたい気持ちを感じられて、とても刺激になりました。

研究をしているうちに、何度も自分の中で出てきたのは、歴史は誰のためのものなのかという疑問です。答えはまだ出ていませんが、「歴史」の良いところ、そうでもないところを理解した上で、地域を大切にしようということが大事なのではないかと思えます。

■プロフィール

1985年、シンガポール出身。日本研究と社会人類学の2つの専攻でロンドン大学東洋アフリカ研究学院を卒業。現在はシンガポール国立大学日本研究学科修士課程2年生。萩でのインターンシップの後、27年1月まで九州大学地球社会統合科学府に留学中。

萩博物館 特設展示室

兄松陰と妹文 杉家の家族愛

平成26年11月に開設した萩博物館特別展示室では、杉家から寄贈された貴重な実物資料とともに、榎取家からお借りした久坂玄瑞が文に送った手紙「涙神帖」などで杉家の家族愛を紹介しています。

■とき 平成28年9月4日(日)まで

※期間中に6回程度の展示替え、涙神帖の展示は平成27年6月21日まで。

■開館時間 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

■主な展示物 吉田松陰や杉文(榎取美和子)がつづった家族あての手紙、文が筆写した兄松陰の和歌(初公開)、松陰・文兄妹と杉家にまつわる証言集(壁面パネル)、兄松陰と妹文(手紙と絵伝で巡る風景(映像展示)、吉田松陰先生絵伝(回廊パネル)ほか

■観覧料 大人510円、高校生100円、小・中学生100円
※常設展、企画展等も観覧できます。

■問い合わせ
萩博物館

(0838・25・6447)

夢 追人

地域に頼りにされる自転車店に

サイクルショップ
NAGACHARI

長岡 一成さん

（萩工業平成11年卒 33歳）



長年、浜崎地区の地元住民を中心に親しまれてきた斎藤自転車。3年前、その跡を継ぎ、この度、市内中心部に新店舗を構えたサイクルショップNAGACHARIの代表・長岡一成さんにお話を伺いました。

船舶の修理から自転車修理へ

萩工業高校を卒業後、株式会社マリーナ萩へ就職し、係留する船舶の管理や修理などのメンテナンス業務を行っていました。一方、斎藤自転車は、妻の祖父母が50年近くの間、浜崎地区で経営をしており、その人柄と技術により、地元の方たちからも愛されてきたお店だったようです。ですが、私が

30歳の時、その祖父が病気で倒れ、営業を続けていくのが難しい状況となりました。その頃、私は12年間勤務した会社を退職しようかと考えていたところだったこともあり、とりあえずは、私が跡を継ぐこととなりました。

独学で覚えた自転車修理

これまで船舶の修理は経験していましたが、タイヤもブレーキもない船と自転車の修理は全くの別物でした。簡単な修理は動画サイトをを見て覚えたり、廃棄する自転車を解体して構造を調べたりと、ほぼ独学で覚え、修理や販売に必要な資格も取得しました。祖父の代からのお客様に加えて、次第に、奈古や須佐といった少し

遠方のお客様も増えていき、現在では、お客様の半分くらいは自分の代で広がった方たちとなつていきます。いずれは自分の店を持ちたいと思いつつも、祖父の代からご利用いただいているお客様も大切にしたいと思いつ、3年間修行のつもりで、斎藤自転車を経営しました。

頼りにされるような自転車店に

独立に向けて、開業をする場所を探していたところ、市内中心部で見つけることができました。病院やスーパーなどにも近いことから、お客様が用事を済ませる間に修理を受けることもできますし、県道沿いで通行量も多く、人目につきやすい場所なので、さらに多くのお客様にご利用いただける機会が増えるのではないかと、思い、店舗名も一新し、平成26年11月にオープンすることができました。

斎藤自転車時代はカタログ販売を行っていましたが、新店舗では、気軽に立ち寄っていただけるよう、店内に自転車をディスプレイして販売を行っています。最近では、ホームセンターなどで安価な自転車を購入することもできますが、自転車店では、ブレーキの強度やブレーキの制動性能など、自転車協会が定めた安全基準に適合している自転車のみを取り扱っています。

最近では、ホームセンターなどで安価な自転車を購入することもできますが、自転車店では、ブレーキの強度やブレーキの制動性能など、自転車協会が定めた安全基準に適合している自転車のみを取り扱っています。

扱っています。サビにも強いですが、メンテナンスの頻度も違うのではないかと思います。見た目にはわかりませんが、長く乗っていただけるよう、品質の高い自転車を提供し、出張修理にも対応することができているのが自転車店の強みだと思っています。実際に、年配のお客様も多いので、1日の中でも出張修理に出る時間は非常に多いですね。萩市では高齢化が進み、市内の自転車店でも後継者がいる店はほとんどありません。そんな中、オープンした店でもありませんので、今後は地域の方たちに頼りたいです。

萩でロードレース大会を!

その後、通勤・通学のためでなく、趣味としても自転車に乗るような人が増えたら良いなと思っています。そして、いつかは、子どもたちや初心者も気軽に参加できるような「ロードレース大会」も開いてみたいと思っています。今後は、近隣の愛好者の方たちとの親交も深めていきながら、私自身もその技術を磨いていきたいと思っています。

■サイクルショップNAGACHARI

住所／萩市御許町143
0838・21・7686



夢追人

大工育成塾で学び木造建築の大工職人に

株式会社
こしらえ
増山 直嗣
代表

ましまな おつぐ
増山 直嗣 さん
(萩市江崎 32歳)



国家プロジェクトで伝統的な木造建築の大工職人を育てる「大工育成塾」を卒業し、現在、株式会社「拵」の代表として、木造住宅の建築に携わる増山直嗣さんにお話を伺いました。

大工育成塾で大工の道へ

江崎で生まれ育った私は、島根県立益田高校を卒業後、千葉工業大学に進学しました。実家が建材資材の卸売や管工事業などをしてきたため、自然な流れで工業系に進んだのですが、もっと現場の仕事で勉強したいと思い、1年で中退。もともと、ものづくりが好きでしたし、自分の家を自分で作ってみたいという思いもあり、20歳の時、国土交通省の支援を受けた

所屬せず、父親の仕事を手伝いながら、フリーランスとして仕事を始めます。建築の現場は多種多様で、さまざまな工法や技術があります。知り合いの大工さんや会社から声をかけてもらい、多くの現場に入りましたが、そこで、たくさん経験させていただきましたね。そして、25歳の時に知り合いの方から声をかけていただいたことをきっかけに、フォークリフトなどで荷物を運ぶ際に使用するパレット製造を始めます。大手企業との取引となるため、法人化することにし、株式会社「拵」を設立。しばらくは、パレット製造の

「大工育成塾」の1期生として入塾。全国4カ所のうち、福岡塾に配属され、平日は、山口市にある工務店で現場見習いとして修行し、週末は、福岡で講義を受けるという日々を3年間過ごしました。現場では、刃物の研ぎ方や簡単な作業から始まり、最終的には一軒の家を建てられるようになるまで、棟梁や兄弟子から指導を受けながら仕事を覚えていきました。ですが、働きながら勉強をするというのは大変なことで、福岡塾の同期生14人のうち、卒業したのは私を含めて4人でした。

自ら設計し、施行にも携わる

住宅づくりは同じ案件がなく、毎回、ゼロからのスタートとなりますが、何もないところから形にしていくのが面白いところだと思っています。自分で設計も行っていきますが、弊社の強みは、設計者が棟梁として施工にも携わり、というところだと思います。お客様と、何度も打ち合わせを重ねてコミュニケーションを取りながら設計を行うことに加えて、私の場合

は、現場での経験があるため図面の完成度も高くなり、現場での食い違いが少なく、作業をスムーズに進めることができます。また、現場監督や営業といった中間経費もコストダウンすることができます。また、デザイン面では掃除をしやすいうようにレールや敷居をなくすとか、ホコリがたまりにくいように和紙のクロスを使うといった機能性を重視すると、必然的に自然素材を使用したシンプルなデザインになることが多いですね。家というハコを作るのは私たちですが、実際に家づくりをしていくのはお客様です。年齢によつて趣味や趣向、家族構成なども変わってきますので、お客様自身がアレンジしやすいように考えながら、その時のベストを尽くしています。家を建てたことで、その方の人生が豊かになつたら嬉し

初心をわすれずに

現在、地元を中心に、萩市内や益田市などからも依頼をいただいています。私の場合、打ち合わせから引き渡しまで1年近くかかるため、現在、依頼を待つという状況にあります。人手が必要な時には、知り合いの若手大工で作ったネットワークを生かして手伝ってもらっています。今後は、さらに、その輪を広げて

いけたら良いですね。

また、せっかくだいたいだいた仕事をお断りしたくはありませんので、若い人材も育てていけたらと思っています。お客様の人生において、家は大きな比重を占めます。一生に一度の買い物と言われますが、その家づくりに携わることはプレッシャーでもあり、喜びでもあります。これからも、初心を忘れないで、ブレずにやっていきたいですね。

株式会社 拵

住所／萩市大字江崎8921-1
0838-72-1500



拵
KOSHIRAE Co.,Ltd

国道191号 (須佐トンネル付近)

1年4カ月ぶり規制解除

平成25年7月28日の萩市東部集中豪雨により、国道191号の須佐トンネル付近で、河川の越流や道路崩落のためトンネル前後の延長1.1kmが全面通行止めとなりました。応急復旧によって同8月5日から片側交互通行となっていました。11月14日に災害復旧工事が完成し、1年4カ月ぶりに片側交互通行の規制が解除されました。

通勤や物流などへの障害となっていた待機時間が解消され、一歩ずつ復興に向けて進んでいます。



復旧工事が完了し、交通規制が解除された国道191号(須佐トンネル付近)上は災害直後、下は工事完了後(平成26年12月)

山陰自動車道 早期整備に向けて

11月15日、山陰自動車道(益田〜萩間)整備促進期成同盟会(会長・野村興兒萩市長)が「山陰自動車道(益田〜萩間)整備促進決



起大会」を萩市民館で開催し、萩市、益田市、阿武町などの関係者ら約500人が参加しました。

山陰自動車道は、鳥取市から下関市までの約380kmの高規格幹線道路として計画されていますが、益田市〜萩市間約60kmは依然として未事業化区間となっており、全国のミッシングリンク(分断された高速道路)の中でも、特に整備が遅れている区間です。

この区間の幹線道路は国道191号のみで、車以外の交通手段は不十分です。豪雨や台風、交通事故等が発生すると、大きく迂回しなければならぬため、消防、救急救命活動、通学、物流などに大幅な時間ロスとなり、喫緊の課

題となっています。平成25年度から、新規事業化に向け優先区間の絞り込みのための調査が行われるなど一歩前進しましたが、さらに加速させるため地域や利用者、関係者の盛り上がりが必要です。

大会では、野村市長が「医療や福祉、経済の面で道路がないと生活ができないということを昨年の災害を受けて痛感した。山陰道は高速道路のネットワークというだけでなく、生活の基幹道路として必要。今後の日本海側の再生には、道路整備が不可欠である」と訴え、整備に必要な予算措置や早期事業化を強く求める大会決議を満場の拍手で採択しました。

今後、関係機関へ地域住民の声を届けて1日も早い事業着手、全線開通を目指します。

萩商工2年ぶり20回目の花園へ



11月22日、第94回全国高校ラグビー山口県予選会の決勝で、萩商工高校ラグビー部が昨年優勝の大津緑洋高校(長門市)を17・12で破り、2年ぶり20回目の優勝を決めました。

12月27日、東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開催される全国大会1回戦(開会式が行われる第1グラウンド、第2試合)の相手は、埼玉県代表の深谷高校。粘り強いディフェンスで、まずは1回戦突破を目指します。



ゆりのしょうま 百合野 翔馬主将 (3年、兵庫県出身)

「皆でがむしゃらに突っ込んで行きたい。フォワードで前に前に出て、チャンスがあればバックスへ。一戦必勝で、まずは1回戦突破を目指します」

萩東中学校 全国中学校 駅伝出場

萩東中学校駅伝部が11月15日に山口市で開催された山口県中学校駅伝大会(全国中学校駅伝大会山口県予選会)で、2年ぶり3回目の優勝を果たし、5年連続6回目の全国大会出場を決めました。

12月14日、予選会と同じ会場、山口県セミナーパーク・クロスカントリーコース(山口市)で開催された第22回全国中学校駅伝大会(6区間・18km)で、24位の成績を収めました。



台湾交通部観光局等への表敬訪問

台湾台北市・楢取道明殉難の地等へ 萩市から視察団を派遣

11月23日から3日間の日程で、野村興児萩市長のほか市議会や観光協会等の民間団体の代表からなる萩市訪台視察団が、台湾からの誘客促進を図るため台北市士林区や台湾交通部観光局等への表敬訪問を行いました。

台北市には、大河ドラマ「花燃ゆ」に登場する楢取素彦の次男(吉田松陰の甥)、楢取道明の殉難の地、芝山巖の墓地および記念碑があり、視察団は同地も視察し、献花を行いました。

楢取道明は、幼い頃は久米次郎といい、一時久坂玄瑞と文の養子になっていました。その後、楢取家を継いだ道明は、松陰や素彦らと同じく教育面で活躍しました。明治28年、日本の台湾統治時に



芝山公園(台湾台北市)の六氏先生の墓

芝山巖学堂(学校)で開始された児童教育に従事しました。松下村塾のように相互に理解しあうことを理想とし、学生と寝食を共にしたと言われています。治安が悪化し暴動が頻発するようになった際、周辺住民から避難を勧められましたが「身に武器を持つことなく民衆の中に入っていくかなければ、教育というものはできるものではない」と教育に命を懸けていることを示して、芝山巖を離れず、翌年1月の抗日事件により39歳で殉職しました。

後に、芝山巖は「教育の聖地」、道明を含む6人の教師は「六氏先生」と称されるようになり、彼らの教育に対する情熱は、「芝山巖精神」として語り継がれるようになりました。

萩市の東光寺境内には、父素彦氏が建てた楢取道明遺骨碑、後に元台湾教育関係者一同によつて建



東光寺(萩市椿東)境内の楢取道明先生の墓、楢取道明遺骨碑、芝山巖六氏先生追慕之碑

てられた芝山巖六氏先生追慕之碑などがあります。大河ドラマ「花燃ゆ」の放映や今回の表敬訪問を契機として台湾から萩市への観光客誘致にも取り組んでいます。

旧スカイシネマの建物解体

1959年(昭和34年)に開館した映画館、スカイシネマ(西田町・萩幼稚園前)は、洋画を中心に長く市民に親しまれました。読者の中にも銀幕スターを見に通わ



れた方がいらつしやるのではないでしょうか。しかし、ビデオや他の娯楽の普及もあり、1992年(平成4年)秋に閉館。その後、ミュージカル公演やダンスパフォーマンスなどを行う劇団さくら組の活動拠点として利用されてきましたが、2014年(平成26年)末に老朽化のため建物が解体されました。

萩の映画館は現在、萩ツインシネマ(東田町)1館が、NPO法人萩コミュニティシネマにより、ボランティアの協力などで運営されていますが、活動の継続が厳しい状況で、存続のための寄付を萩コミュニティシネマ(0838・26・6705)が、募集しています。

13世坂高麗左衛門(純子)さん死去



萩焼の宗家として約400年続く坂家の13代当主、坂高麗左衛門(本名・坂純子)さん(62歳)が11月18日に亡くなりました。坂家は、16世紀末の文禄・慶長

の役で朝鮮半島から招かれた陶工の李敬を始祖とし、毛利氏が萩に城を移した際、松本村に開窯、萩藩の御用窯に任せられました。

純子さんは、11代の4女で、武蔵野美術大学造形学部で日本画を専攻、卒業後は萩市内で美術の非常勤講師を務め、1991年(平成3年)から萩焼に絵画的意匠を採り入れた義兄の12代のもとで萩焼の絵付けを学びました。

2004年(平成16年)の12代の死去後は坂窯の代表を務め、2011年(平成23年)4月に13代坂高麗左衛門を襲名、約400年の歴史を持つ坂窯で初めての女性当主となりました。

純子さんの作品は、植物の絵付けや伝統的な柔らかな風合いが特徴。襲名翌年から京都や東京などで襲名披露の個展を、また10月には地元萩市で初めて襲名記念展を開催したばかりでした。心から「冥福をお祈りいたします」。

会員投稿



萩高昭和33年卒 (10期)同期会

10月12日 萩一輪(萩市)



平成23年10月の50回記念の会以来、3年ぶりに各地の同期生が萩に集い、萩本陣で「第10期同期会」を開催しました。「全員が声を掛けあって集まるのも今年で最後」の声に促されて、当日は、台風19号接近のニュースにも関わらず男女67人が集まり、談笑と歓談で旧交を大いに温めました。次の日は、台風前の雨天でしたが、有志は、幹事中山島さんの案内で市内をバスツアー。萩博物館、改修した渡辺高蔵旧宅等を訪れ、あらためて世界遺産や大河ドラマで来年話題となる故郷萩の歴史に触れて参りました。多用な中、取りまとめに尽力された竹内さんを始め幹事の皆さんにお礼を申し上げます。
山口雄三(神奈川県)

会員投稿



10月12日 旺金閣(萩市)

萩商工機械科昭和33年卒クラス会



古希を迎えた6年前にクラス会を開催し、その後3年おきに開いて今回で3回目。最初は50年も会っていないため見てもすぐには誰か分からない人もいましたが、今回は名札なしでも分かるようになりました。また、最近住所が分かり初参加となった方とは56年ぶりの再会でした。
男ばかりの会と言うこともあり遠慮いらずに言いたい放題。昔話に花が咲きあつと言う間に時間が経ちました。
クラス会は今回で終わりにしようと思ったものの、皆さんから継続の要望の声が出たため、3~4年後、体力と気力を残しその時期に考えることにしました。 森田敏照(千葉県)

会員投稿



10月13日 リゾートホテル美萩(萩市)

指月中昭和30年卒(8期)同期会



平成23年10月以来、3年ぶりで各地の同期生が萩に集い、「指月中第8期同期会」を開催しました。
当日は、台風19号が萩を通過しそうな中、菊ヶ浜のリゾートホテル美萩には、病を押して参加された方も加え、女性15人、男性25人の計40人が集まりました。
60年ぶりに再会する人など、後期高齢を迎えた参加者一同、校歌斉唱の後、ともども積る話に楽しいひと時を過ごした後、再会を約束して別れを告げました。
多用な中、幹事を受けられた竹内さん、当日、写真撮影に専念の白井、森田さんのお三方にお礼を申し上げます。
山口雄三(神奈川県)

会員投稿



10月15日 高大亭(萩市)

明経中13期同期会





さんさん

関西燦々会 一泊旅行 (萩商工商業科昭和33年卒)



今年は75歳、後期高齢者の仲間入りを記念し鳥取方面への一泊旅行に行ってきました。

年を重ねるにつれ、あっちが悪い、こっちが痛いという「いごと」が多くなり、また、老々介護で遠出できないetc、参加者も徐々に減り、今回は11人でした。

幸い最近にない好天に恵まれ、鳥取砂丘、山陰海岸の景色を満喫し、開湯850年の三朝温泉でのんびり湯につかり、料理に舌つづみをうち、美酒に酔い、カラオケで盛り上がり、翌日は花回廊・萩山高原等を散策し、夕刻帰阪、来年の新年会で元気に再会することを約し解散しました。

堀 明人 (兵庫県)



萩商工土木科昭和35年卒同級会



児玉明先生、つばき会池田会長の出席のもと、10回目の同級会を開催することができました。

児玉先生曰く、「今年で85歳に、まだ生きております。いつも来年は出席できるかなと心配しておりますが、元気であれば参加を楽しみにしています。(手帳を開き)このようにスケジュールが一杯です。お互いに教養(今日用)があれば、今日も用事、明日も用事、しゃべって、歩き回る事ができるのが、元気で長生きの秘訣だと思っています」とのこと。この会も先生がお元気なうちは継続することを約し、2次会も大いに盛り上がりました。

次回は10月16日(金)に予定しています。

藤村宏祐 (下関市)

山口指月会

10月18日

翠山荘(山口市)



54人が出席。毎年、萩高校開校日に開催。東章会長(昭和32年卒)が「夏から10月にかけて2度の台風、天候不順で農作物等への影響は大変であったが、8月に山陰線と山口線の開通という良い知らせもあった。この会も昭和25年に湯田で設立準備会、その頃にご尽力いただいた先輩方もご出席。65周年となり盛大に開催することができた。50周年の時の名簿は1300人の会員。続けることが肝要、行ってみたら良かったという会になるように努めている」とあいさつ。

吉岡龍太郎教頭(28期)が「昨年から母校での勤務。現在15人の先生が卒業生。現在、生徒数は455人で、男子222人、女子233人。理数科1クラス、普通科3クラスに。昨年の国公立大への合格率が48%(153人中、74人)。平成に入り最高の数字となった。現役で医学部も4人。合唱部が5年連続で全国大会へ」と近況を報告されました。

ビンゴ大会の開催などもあり、賑やかな会となりました。

東京指月会

10月18日

日本工業倶楽部(東京都)



第47回、200余人が出席。会長の陽捷行さん(昭和37年卒)があいさつで、「世界遺産が実現しようとしている。ポートを漕ぐとき後ろ向きになるように、未来に進んで行く方向を決めるのは過去という両岸を見ていく以外になく、その両岸とは萩の歴史的史実であり、これを把握し評価して未来予測を行う。萩の世界遺産登録は文化の継承であると同時に次代の人々の心の遺産になる。『萩の文化よ永遠なれ』とエールを送られました。

また、引受期を代表して矢次史枝さん(昭和59年卒、36期)が、「台風の影響で中止となった昨年の分まで楽しんでいただきたい」とあいさつ。

懇親会は、萩から駆けつけた野村市長の萩の近況報告と乾杯の音頭で開宴。途中、セピア色に染まった萩の懐かしい写真を題材にした4中隊に分かれてのクイズ対抗戦や萩の特産品が当たる福引などで大いに盛り上がり、最後は、戸倉克己さん(昭和26年卒)が応援団長となり、校歌斉唱で会を締めくくりました。

情報アラカルト

北海道地区

■岡田裕 作陶展

1月28日(水)～2月2日(月)
北海道旭川市一条通8・1
西武旭川店
(0166・21・0111)

関東地区

■大群馬展

「花燃ゆ」にちなんだ「秋ブ羅斯」が設置されます。忠小兵衛かまぼこのかまぼこ、揚げかまぼこの実演販売が行われます。
1月14日(水)～20日(火)
群馬県前橋市千代田町2・12・3
スズラン前橋店 8階大催事場
(027・233・1111)

■下瀬信雄写真展「結果」

10月に発売した写真集「結果」の出版記念写真展。
1月15日(木)～21日(水)
東京都新宿区四谷1・7 日本写真会館5階(JR四ツ谷駅四ツ谷口徒歩3分)
ポルトレトギャラリー
(03・3351・3002)

■兼田昌尚展(陶 15・稜線のチカラ)

1月28日(水)～2月3日(火)
東京都中央区 日本橋三越本店
6階美術特選画廊

(03・3241・3311)

■エコ・ピア「山口フェア」

萩の特産品が販売されます。

2月6日(金)～9日(月)

エコピア薬田台店、八幡店

■伝統的工芸品展WAZA 2015

萩焼をはじめとする日本の伝統工芸品が一堂に会し、展示・販売。

2月19日(木)～24日(火)

東京都豊島区西池袋1・1・25
東武百貨店池袋店
(03・3981・2211)

■岡田裕 茶陶展

2月24日(火)～3月2日(月)
東京都新宿区新宿3・37・11
安与ビル地下2階 柿博ギャラリー
(03・3352・5118)

■岡田泰 作陶展

3月4日(水)～10日(火)
東京都中央区銀座4・6・16
銀座三越
(03・3562・1111)

■ふるさとの食につぼんの食全

国フェスティバル
岸田商会のチョンマゲビールや
ポン酢、村田蒲鉾のかまぼこが出
店予定。
3月7日(土)、8日(日)
午前10時～午後4時
NHK放送センター(JR山手線
渋谷駅から徒歩12分)、代々木公

■金子信彦 作陶展

2月4日(水)～10日(火)
大阪府大阪市北区角田町8・7
阪急うめた本店 7階美術画廊
(06・6361・1381)

■元陽展(絵画) 巡回展

絵画全国公募団体の絵画展。萩市出身で広島市在住の西村不可止さんの作品も展示されます。
1月14日(水)～18日(日)
午前9時30分～午後5時
観覧料 一般500円、大学生
300円、高校生以下無料
大阪府大阪市天王寺区茶臼山町1
・82(天王寺公園内)
大阪市立美術館
(06・6771・4874)

■西村不可止個展(サイドシリーズ)

3月中旬まで 午前10時～午後5時
広島県安芸高田市八千代町勝田
497・4 安芸高田市立八千代
の丘美術館
(0826・52・3060)

■水津和之 陶展

2月3日(火)～9日(月)
広島県広島市中区胡町5・1
広島三越
(082・242・3111)

園ケヤキ並木通り

関西地区

■金子信彦 作陶展

2月4日(水)～10日(火)
大阪府大阪市北区角田町8・7
阪急うめた本店 7階美術画廊
(06・6361・1381)

■元陽展(絵画) 巡回展

絵画全国公募団体の絵画展。萩市出身で広島市在住の西村不可止さんの作品も展示されます。
1月14日(水)～18日(日)
午前9時30分～午後5時
観覧料 一般500円、大学生
300円、高校生以下無料
大阪府大阪市天王寺区茶臼山町1
・82(天王寺公園内)
大阪市立美術館
(06・6771・4874)

中国地区

■西村不可止個展(サイドシリーズ)

3月中旬まで 午前10時～午後5時
広島県安芸高田市八千代町勝田
497・4 安芸高田市立八千代
の丘美術館
(0826・52・3060)

■水津和之 陶展

2月3日(火)～9日(月)
広島県広島市中区胡町5・1
広島三越
(082・242・3111)

九州地区

■岡田裕 作陶展

2月11日(水・祝)～17日(火)
福岡県福岡市中央区天神1・4・1
博多大丸福岡天神店
(092・712・8181)

山口県

■下瀬信雄写真展「さやかに風も」

1月28日(水)～4月12日(日)
山口市湯田温泉1・11・21
中原中也記念館
(083・932・6430)

阿武町関係

■森山良子アコースティックコンサート in ABU

1月24日(土) 午後6時30分～
全席指定4500円(当日4800円)
(問) 阿武町民センター
(08388・2・2044)

萩市関係

■藤崎恒頼 新作展(絵画)

1月15日(木)～20日(火)
萩市江向440・1
萩郵便局コミュニティルーム

■大河ドラマ「花燃ゆ」放送開始記念講演会

「花燃ゆ」制作統括の土屋勝裕さん(NHKドラマ番組部チーフ・プロデューサー)と萩博物館主任学芸員の道迫真吾さんを講師

第61回日本伝統工芸展

陶芸家岡田裕、岡田泰、玉村信一、野坂和左、波多野善蔵、松尾藻風の作品が入選しました。

◆福岡展 2月3日(火)～8日(日) 福岡三越

◆松山展 2月17日(火)～22日(日) 松山三越

◆広島展 2月25日(水)～3月15日(日) 広島県立美術館

に、制作秘話やドラマの楽しみ方をお話いただきます。

1月24日(土)
午前10時30分～正午
萩市民館大ホール

※入場には整理券が必要。整理券は1月11日から文と萩物語「花燃ゆ」大河ドラマ館、萩市観光協会などで配布。無くなり次第終了。

(問) 萩市企画政策課
(08388・25・3569)

■久坂玄瑞進撃像 除幕式

1月24日(土)
午後1時～1時30分
中央公園(旧市民球場跡)
除幕式に、「花燃ゆ」玄瑞役の東出昌大さんが出席予定。

■久坂玄瑞進撃像建立記念講演会

銅像制作者の江里敏明さん、萩博物館特別学芸員の一坂太郎さんの講演会
1月24日(土)
午後2時30分～4時

萩博物館講座室
定員100人(先着順)
(問) 萩市まちじゅう博物館推進
課内銅像建立委員会事務局
(0838・25・3290)

テレビ情報

■いよいよ「花燃ゆ」スペシャル
井上真央さん、檀ふみさん、優
香さん等が番組紹介。
1月3日(土) 午後6時5分〜6
時50分、NHK総合
■新春スペシャル 世界へGO! ま
るわかり幕末長州

「花燃ゆ」の舞台となる長州を
「世界からの視点」で分かりやす
く紹介。
1月3日(土) 午後10時15分〜11

新規(再)加入会員

神崎和輝さん (千葉県銚子市)
山下淳子さん (長門市)
鷺頭弘幸さん (東京都世田谷区)
中村和平さん (埼玉県飯能市)
末永効士さん (神奈川県横須賀市)
内山克巳さん (宮城県宮城郡)
山中宏子さん (東京都練馬区)
岸下隆治さん (静岡県浜松市)
高山路子さん (下関市)
綿屋正之さん (下関市)
大谷寛治さん (大阪府八尾市)
堀田均さん (兵庫県明石市)
土山泰三さん (下関市)
渡邊章代さん (山口市)
(10月25日〜12月22日 14人)

時30分、NHK総合
■歴史にドキリ! 花燃ゆフラ
ワー・バーニング・スペシャル
小学生に人気の「歴史にドキリ」
が「花燃ゆ」とコラボレーション。
舞台となる幕末、長州藩について
楽しく学びます。

1月4日(日) 午後0時15分〜0
時55分、NHK総合
■先人たちの底力 知恵泉(ちえ
いず)「やる気を引き出せ!」幕
末の熱血教師 吉田松陰〜」
吉田松陰の人材育成の知恵をひ
もとく。

1月6日(火) 午後11時〜11時45分
NHK Eテレ(再放送) 13日(火)
午前5時30分〜6時15分
■歴史秘話ヒストリア「友がいれ
ば、越えていける!」伊藤博文と
井上馨の大冒険〜」
イギリスに密航留学した明治の
元勳2人、若き日の友情物語を描
く。

1月7日(水) 午後10時〜10時43
分、NHK総合(再放送) 14日(水)
午前0時40分〜1時23分
■あさイチ「JAPAなび・萩」
萩を特集。出演は、タレントの
じびる大木さん、松苗竜太郎アナ
ウンサーほか。
1月8日(木) 午前8時15分〜9
時54分、NHK総合
■英雄たちの選択「黒船で世界を
めざせ! 維新の原点 吉田松陰の
決断」

吉田松陰の実像をアメリカに残
る資料を交えながら描く。
1月8日(木) 午後8時〜9時
BSプレミアム(再放送) 16日
(金) 午前8時〜9時

ラジオ情報

■DJ日本史「大河ドラマ特集」
「花燃ゆ」の見どころや舞台と
なる萩市の歴史風土を松村邦洋さ
んが熱く語ります。
1月5日(月) 午後8時5分〜9
時55分、NHKラジオ第1
■「花燃ゆ」を読む

「花燃ゆ」の脚本ノベライズ作
品から物語のハイライトをNHK
山口放送局のアナウンサーが朗読。
1月10日(土) 午後0時15分〜0
時30分(毎週土曜日)、NHKラ
ジオ第1(山口県内向け)
※テレビ・ラジオ情報については、
放送予定が変更になる場合があります。
ます。ご了承ください。

■吉田松陰とその家族 兄を信じ
た妹たち 一坂太郎
松陰と彼を愛した人々、彼の
「志」を受け継いだ者たちを描く
幕末群像。
価格 880円(税別)
出版社 中公新書
■てのひら 谷津矢車
杉文・小田村伊之助、幕末維新
を見守り続けたふたりの愛の物語。

価格 1350円(税別)
発行 学研パブリッシング
■至誠に生きて 富成博
吉田松陰の妹文(楫取美和子)
の実録生涯を描く。
価格 1800円(税別)
出版社 右文書院

■池田屋事変始末記 富成博
長州藩から見た池田屋騒動、吉
田松陰の最後
価格 667円(税別)
出版社 新人物文庫

■「花燃ゆ」完全読本
価格 1000円(税別)
発行所 産経新聞出版

■「花燃ゆ」完全ガイドブック
価格 1000円(税別)
発行 東京ニュース通信社
■花燃ゆ(一) 作 大島里美
宮村優子

ノベライズ 五十嵐佳子
価格 1400円(税別)
出版社 NHK出版
■NHK大河ドラマ・ストーリー
花燃ゆ 前編
価格 1050円(税別)
発行所 NHK出版

■NHK大河ドラマ歴史ハンド
ブック花燃ゆ
価格 950円(税別)
発行所 NHK出版

プレゼント

■文と萩物語「花燃ゆ」大河ドラ
マ館チケット(ペア)を3名様。
■応募方法 ハガキに品名、住所、
氏名、電話番号、近況等を明記の
うえ、萩ネットワーク協会プレゼ
ント係まで。1月20日(消印有効)。

萩のおすすめお食事どころや日帰り温泉、萩焼体験施設などを紹介した「萩ガイド」を発行

萩市観光協会が、観光客の受入整備の一環として「食べる、買う、体験する」などの観光需要に対応したガイドブックを発行しました。ガイドブックには、萩市内の飲食店、土産物店、日帰り温泉や萩焼体験施設など124施設(飲食店48、土産店42、宿泊施設17、体験施設10、日帰り温泉施設7)を紹介しています。

A5サイズ、カラー、32ページ
配布場所 萩市観光協会ほか萩市内各所

■問い合わせ 萩市観光協会 (0838・25・1750)





大河ドラマ、舞台は山口県！
1月4日(日) スタート！

日曜日 [総合] 午後8時～
[BSプレミアム] 午後6時～
土曜日 [総合] 午後1時05分～(再放送)

大河ドラマ



～明治維新は
この家族から始まった～



もゆるん
©NHK・SANRIO 2014

井上 真央 [杉文 (美和) 役]
大沢たかお [小田村 伊之助 (楢取 素彦) 役]
伊勢谷友介 [吉田 松陰 役]
高良 健吾 [高杉 晋作 役]
東出 昌大 [久坂 玄瑞 役]

「花燃ゆ」公式ホームページ <http://www.nhk.or.jp/hanamoyu/>



イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

1月10日(土)～3月31日(火)

◇萩まちじゅうめぐり・
萩温泉郷湯めぐりキャンペーン 市内各所

2月3日(火)～4月3日(金)

◇萩城下の古き雑たち 旧久保田家住宅ほか

2月14日(土)～3月29日(日)

◇萩・椿まつり 笠山椿群生林

3月8日(日) 10:00～(予定)

◇萩・しろ魚まつり
山口県漁協萩地方卸売市場、道の駅「萩しーまーと」

3月15日(日) 10:00～(予定)

◇萩の真ぶぐ祭り
山口県漁協萩地方卸売市場、道の駅「萩しーまーと」

3月28日(土) 9:00～

◇萩往還ワンデーウォーク 2015

萩博物館だより

☎0838・25・6447

特別展

海を拓いた萩の人々 ～4月5日(日)
～日本漁業近代化の先駆け～

特設展示室

兄松陰と妹文 ー 杉家の家族愛ー
～平成28年9月4日(日)

■観覧料 大人 510円、高校・大学生 310円、小・中学生 100円

■年中無休 年末年始も開館

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

収蔵版画展 1月2日(金)～25日(日)

○普通展示 (収蔵品展示)

▽浮世絵 江戸の一生 (～1月25日)、明治絵—文明開化の世界(2月3日～3月8日)
▽東洋陶磁 めでたいかたち—吉祥文— (～1月25日)、染付 (2月3日～7月12日)
▽卑弥呼と愛 十二代三輪休雪の世界 (～1月25日)、未来派の「縄文」茶陶—染野夫妻陶芸コレクション (～1月25日)、素材のかたち (2月3日～8月23日)、萩焼の現代 (2月3日～6月14日)

■観覧料 一般 300円、学生 200円、18歳以下・70歳以上無料

■休館日 月曜日 (1月12日は開館)、2月1日

ブックレットシリーズ

萩ものがたり

申し込み 一般社団法人 萩ものがたり
(0838・25・3233)



43 楢取素彦
「至誠」を体現した松陰の盟友

道迫真吾 (萩博物館主任学芸員) 510円

義兄であり、同志でもあった吉田松陰の教えを受け継ぎ、松下村塾の存続に尽力する傍ら、幕末の激動期に藩主の側近くにあつて藩政に関わり、維新後は初代県令として群馬県の発展に貢献した人物でありながら、これまで顧みられることの少なかった楢取素彦の波乱に満ちた生涯を辿る。

楢取素彦が生涯を通して持ち続けていた精神こそ、松陰から受け継いだ「至誠」であった。



44 久坂玄瑞

一坂太郎 (萩博物館特別学芸員) 510円

高杉晋作と並んで松下村塾の「竜虎」と称された久坂玄瑞は、その学才を松陰に見込まれて、松陰の妹、文と結婚する。しかし、それも長くは続かず、急進的な攘夷運動のリーダーとして活躍するも、「禁門の変」でわずか二十五歳の短い生涯を閉じた。

師の松陰を追うかのように、幕末史を足早に駆け抜けた玄瑞の鮮烈な生涯を描く。